

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	名張市役所		代表者名	北川 裕之	
担当者部署(属性)	企画担当	担当者部署名	行政・デジタル改革推進室	連絡先電話番号	0595-63-7302
担当者役職	主査	担当者氏名	宮本 寛太	連絡先E-mail	
住所	518-0492 三重県名張市鴻之台1番町1番地				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署		連絡先E-mail	
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（単独）	事業名	DX人材育成研修（管理職/一般職員）		
概要	自治体DX推進に向けた人材育成研修（①管理職向け、②名張市行政情報化推進リーダーを含む一般職員向けの内容に分けて研修を実施）				
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成）				

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和6年10月30日	講演(実地)	9時00分	17時00分	90
				活動時間（分）	390
2-2.	会場名	名張市役所 大会議室		最寄駅	名張駅（近畿日本鉄道）
派遣場所	所在地	三重県名張市鴻之台1番町1番地		最寄駅からの交通手段	公用車による送迎

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	村上 文洋
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	①管理職向けの研修では、人口減少社会における行政課題を「対話型自治体経営シミュレーションゲーム」を通じて、緊迫感と丁寧な説明によって、地域課題の対話による効果的なまちづくりを行うための手法を学ぶことができました。 ②名張市行政情報化推進リーダーを含む一般職員向けの研修では、人口減少という社会情勢の背景から、行政DXを進めることの必要性を座学にて学ぶことができました。また、グループワークでは、身近にある行政課題を取り上げて、あるべき未来像に向けて、どのような方策をとるべきかを考える基礎的な手法を学びました。 これらの学びは日常業務から対市民といった高度な施策展開に活用できるものであり、大変有意義な講演となりました。
アドバイザーへの要望事項	特にございません。熱心なご講演ありがとうございました。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	65人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	65	0	0	0

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	限られた財源・職員数で複雑・多様化する行政課題に対応するために、名張市DX推進計画に基づく行政DXの推進について、具体的なイメージを庁内で共有できる機会を設け、機運醸成を図るとともに、職員一人ひとりがデジタル化の必要性、重要性を認識し、市民サービスの向上や業務改善に向け自ら考え行動することが求められています。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	人口減少社会において持続可能な行政運営を目指すため、効果・効率的な業務を実施するためのDX推進による改善を実施するほか、限りある資源を有効に活用し、必要な事業を峻別できる判断力と実行力を高めていきます。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	①管理職向けの研修の実施(10月30日(水)9:00~12:00) ②名張市行政情報化推進リーダーを含む一般職員向けの研修の実施(10月30日(水)13:30~17:00)	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	①管理職向けの研修では、人口減少社会における行政課題を「対話型自治体経営シミュレーションゲーム」を通じて、緊迫感と丁寧な説明によって、地域課題の対話による効果的なまちづくりを行うための手法を学ぶことができました。 ②名張市行政情報化推進リーダーを含む一般職員向けの研修では、人口減少という社会情勢の背景から、行政DXを進めることの必要性を座学にて学ぶことができました。また、グループワークでは、身近にある行政課題を取り上げて、あるべき未来像に向けて、どのような方策をとるべきかを考える基礎的な手法を学びました。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑤組織業務改善ができた
	①管理職向けの研修の実施(職員31名参加) ②名張市行政情報化推進リーダーを含む一般職員向けの研修の実施(職員34名参加)	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特にごさいません。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 別紙「アンケート結果(令和6年11月1日現在)」のとおり	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する
	限られた財源・職員数で複雑・多様化する行政課題に対応するため、職員一人ひとりがデジタル化の必要性、重要性を認識し、市民サービスの向上や業務改善に向け自ら考え行動するよう、行政DXの推進に向けた機運醸成を図る。	
4-4. 事業の最終的な目指す姿	職員一人ひとりが地域情報化の推進者となり、デジタル技術の適切な利用を通じて、少子高齢化に伴う人口減少社会にあっては、複雑化する社会問題に機敏に対応するとともに、職員数が減少する中においても効果・効率的な行政運営を実現し、持続可能な地域社会の実現に繋がっていきます。*	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 掲載可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



